

謝罪文

甲野花子様

この度は、私が起こしてしまいました窃盗事件について、甲野花様に心よりお詫び申し上げます。

トイレに置き忘れられていた甲野花様の財布を発見した時、このまま持ち帰っても露見しないのではないかと安易に考え、盗みを行いました。

自分勝手に、陰湿かつ愚劣なこの行動により、甲野花様に多大なるご迷惑をお掛けしてしまいました。

本来であれば施設内の所定の受付か警察等に届け出をしていれば、甲野花様のお手元にすぐ、財布は戻ってきてその後のお買い物等も再開できたり、安心してご帰宅いただけたはずでしたのに、私のせいで台無しにしてしまいましたこと心からお詫び申し上げます。

自分の行動がどのような結果を生むのか考えられず、また考えようとしなかった、己の愚かさを深く反省しております。

甲野花様には、せめてもの償いとしまして、私が盗んだお財布、また盗まれたお財布を使い続けられることは大変ご不快なことと存じますので、新たなお財布のご購入代金、慰謝料につきまして、誠心誠意の賠償をさせていただきたいと考えております。

このようなことでは、楽しかった日を台無しにされたこと、その後の警察にご協力されるために拘束されたお時間やお手間や不安などは、到底償いえないこととは思いましたが、せめて少しでも謝意を行動として表したく思っております。

今後は決して甲野花様に近づかないことはもちろんのこと、〇〇にも足を踏み入れません。己を見つめ直し戒め、二度と同じような事件を起こさないことを、固く誓います。

改めて今回の事件で、私の行いが大変なご迷惑をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。

本当に、申し訳ございませんでした。

令和元年5月15日

鈴木太郎 印